



NO. 314

2019. 8. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

神奈川県相模原市の障がい者支援施設における
殺傷事件から3年が経ちました

理事長 小泉 いと子

2016年7月26日に神奈川県相模原市の障がい者支援施設「津久井やまゆり園」で利用者19名が殺害され、利用者と職員26名が重軽傷を負うといった殺傷事件から3年が経過しました。

大阪市では、毎年7月26日に福祉局ホームページにメッセージを掲載していただいております。今年も掲載がありましたのでのご紹介をさせていただきます。

「ともに生きる社会」の実現に向けて

神奈川県相模原市の障がい者支援施設「津久井やまゆり園」で、多くの障がいのある方々の尊い命が奪われ、傷つけられる痛ましい事件から、今日で3年が経ちました。お亡くなりになられた方々、傷つかれた方々のためにも、決してこの事件を風化させてはいけません。

しかしながら、未だに、施設やグループホームなどでの死亡事故や長年にわたる監禁により衰弱死に至る事件、車いす利用者に対する入店拒否等、障がいのある方が犠牲になる事件や事故、差別や虐待が相次いでいます。また、旧優生保護法のもと、障がいがあること等を理由に優生手術を強いられた方々や家族が受けた苦痛は計り知れず、決して癒えるものではないと思います。

このような事態を繰り返さないために、改めて、私たち一人ひとりが、すべての人たちの命の大切さや尊さ、ともに生き、支えあうことの大切さについて考えてみませんか。ともに生き、支えあう社会は、誰もが安心して、暮らし続けたいと思える社会です。そんな社会を実現するために、何ができるかを考え、できることから行動につなげることが必要です。

障がいのある方をはじめ、支援や配慮を必要とする方への思いやりのある行動を広げる取組として「ヘルプマーク」を配布しています。電車・バス、駅や商業施設等でこのヘルプマークを身に着けている方、あるいは困っている方を見かけたら、「席をゆずる」「声をかける」など思いやりのある行動をお願いします。

また、大阪市では、様々な障がいの特性やどんな配慮が必要か理解し、「ちょっとした手助けや配慮」で、誰もが暮らしやすい社会をめざす「あいサポート運動」を推進しています。この運動の輪が広がるよう、一人でも多くの方に「あいサポーター」になっていただきたいと思います。

こういった取組を知り、行動することで、思いやり、支えあいの輪が広がってほしいと思います。一人ひとりの行動はたとえ小さくても、それが広がることで誰もがともに生きる社会につながっていきます。

大阪市では、これからも、障がいや障がいのある方々に対する理解を深めるための取組を進め、障がいの有無にかかわらず、地域で安心して暮らし続けられる「共生社会」の実現に積極的に取り組んでまいります。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

障がいのある皆さまは、差別や虐待を受けて、嫌な思いをしたり、困ったことがある時は、一人で悩まず、周りのご家族や友達、支援者に相談してください。大阪市内にも、皆さまの力になるための相談窓口を設けています。いつでも相談してください。

令和元年7月26日

事件から3年が経過しましたが、たくさんの方々が想いを寄せています。

このような辛い悲しい事件が2度と起きないように、手をつなぐ育成会としても会員の皆さんと共に障がい者理解を進めていき、誰もが住みやすい「共生社会」になりますことを願います。